



キッツグループ環境理念

キッツグループは、環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動の推進により、社会から信頼される企業を目指します。

キッツグループ環境行動方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供

2. 資源の有効活用

3. 廃棄物の削減と再使用・再利用の推進

4. 環境汚染の防止・予防

リスクの予防とコストの低減を図り、グループを挙げて環境経営を推進します

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」で掲げた「真のグローバル企業へと進化します」というスローガンの実現に向けて、「グループを挙げた環境経営の推進」を経営基盤強化の一つとして位置づけ、これをもとに「環境マネジメント体制の強化」「環境負荷の低減」「環境関連法規制対応」の3つの目標を設定しています。

● 環境マネジメント体制の強化

国内の全生産拠点で完了しているISO14001認証取得を海外拠点にも広げていきます。早期に海外の全生産拠点での取得を完了し、真のグローバル企業としての環境管理体制の構築を目指します。

● 環境負荷の低減

事業活動に投入されるエネルギーや水資源、事業活動によって排出されるCO₂、廃棄物、化学物質の削減を目標項目に設定しています。限りある資源を効率的に活用するとともに、徹底したムダの排除により総量と原単位の両面から環境負荷低減に取り組みます。

● 環境関連法規制対応

日本国内はもとより、欧州、アジア、米国など世界的に規制が厳しくなる環境問題に対し、各種環境法規制への遵守にとどまらず、事業活動に影響を及ぼすあらゆるリスクを排除する活動に取り組んでいきます。

この3つの目標は「『リスクの予防』と『コストの低減』の両立」をベースに達成したいと考えております。

長期経営計画におけるグループ環境目標

1. 環境マネジメント体制の強化

海外拠点のISO14001認証取得及び環境実績管理

2. 環境負荷の低減

目標設定項目

● CO₂排出量

● エネルギー消費量

● 廃棄物排出量

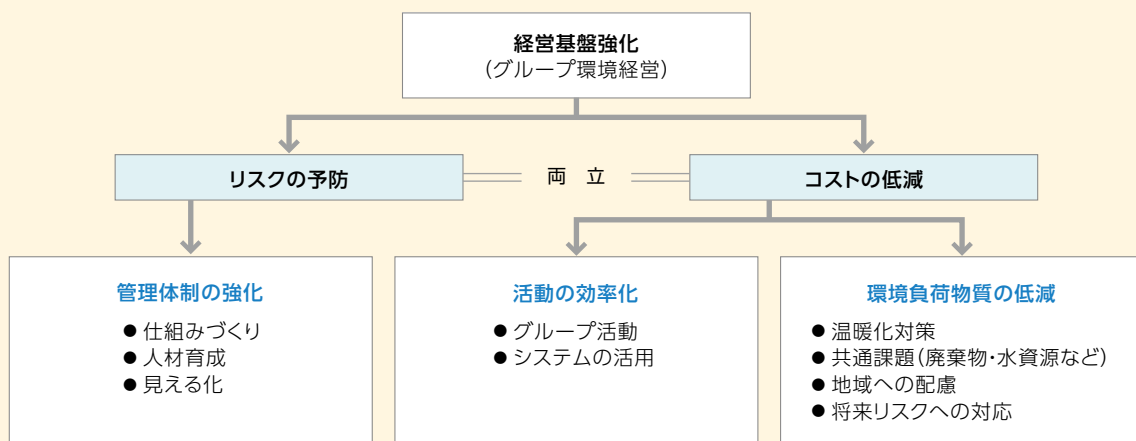
● 廃棄物最終処分量

● 水使用量

● PRTR排出量

3. 環境関連法規制への対応

目標達成に向けた環境経営の考え方と取り組み



環境目標と実績

第2期中期経営計画（2013年度～2015年度）において「グループ環境経営の推進」を掲げ、環境活動を進めています。

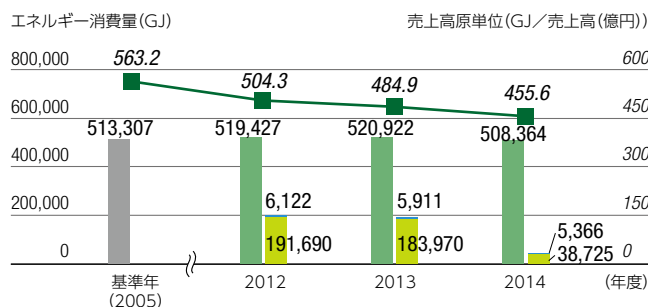
重点テーマ	実施項目	2014年度到達目標	2014年度実績
環境経営の確立	1.環境マネジメント体制の強化		
	①グループ環境管理体制の構築	①ISO14001統合認証更新(国内7拠点) ②海外生産拠点の環境実績管理の推進(エネルギー、廃棄物等)	①2014年10月にグループ維持審査受審完了 ②KITZ (Thailand) Ltd.環境監査実施
環境負荷の低減	2.循環型社会の形成		
	①総廃棄物量原単位(t/億円)	売上高原単位 7.27t/億円	7.28t/億円(※)
	②廃棄物最終処分量原単位(t/億円)	売上高原単位 0.29t/億円	0.30t/億円(※)
	③水資源使用量原単位(m ³ /億円)の削減	売上高原単位 454.98m ³ /億円	418.90m ³ /億円(※)
	3.有害化学物質の削減		
	④PRTR第1種指定化学物質排出量原単位(t/億円)の削減	売上高原単位 0.28t/億円	0.24t/億円(※)
環境関連法規制対応	4.地球温暖化防止		
	⑤エネルギー消費量原単位(GJ/億円)の低減	売上高原単位 503.64GJ/億円	474.01GJ/億円(※)
	⑥地球温暖化ガスCO ₂ 排出量原単位(t-CO ₂ /億円)の低減	売上高原単位 58.22t-CO ₂ /億円	55.12t-CO ₂ /億円(※)
	5.環境リスクの見える化と対応		
①法規制への対応	①法改正の情報収集体制の整備及びその対応	改正水質汚濁防止法の対応完了 改正フロン法の対応実施	
②PCB	②国内グループ会社PCB廃棄物処分	低濃度PCB 21,300L処分完了	

(※)キッツ及び国内グループ会社(営業所は除く)

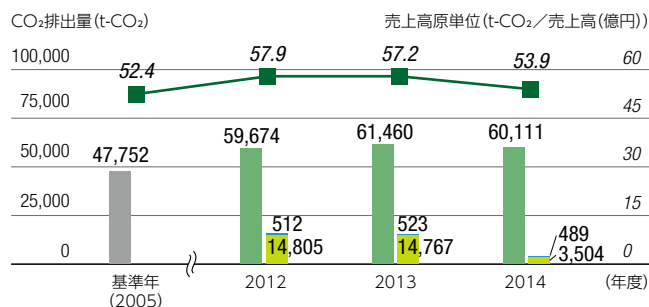
主な環境データ

■ キッツ及び製造グループ会社(営業所は除く) ■ サービスグループ会社(2008年度よりデータを集計) ■ キッツ及び製造グループ会社(営業所)(2009年度よりデータを集計)
■ 売上高原単位はキッツ及び製造グループ会社(営業所は除く)

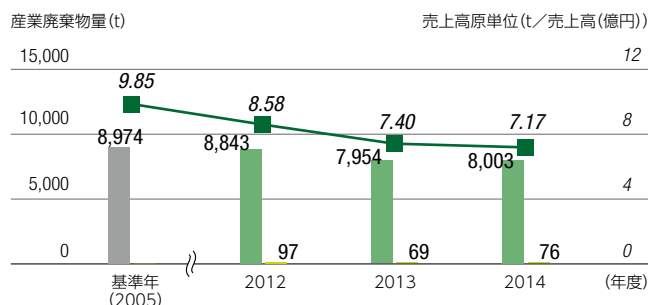
エネルギー消費量の推移



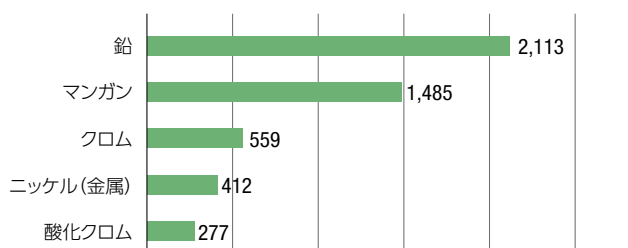
CO₂排出量の推移



産業廃棄物量の推移

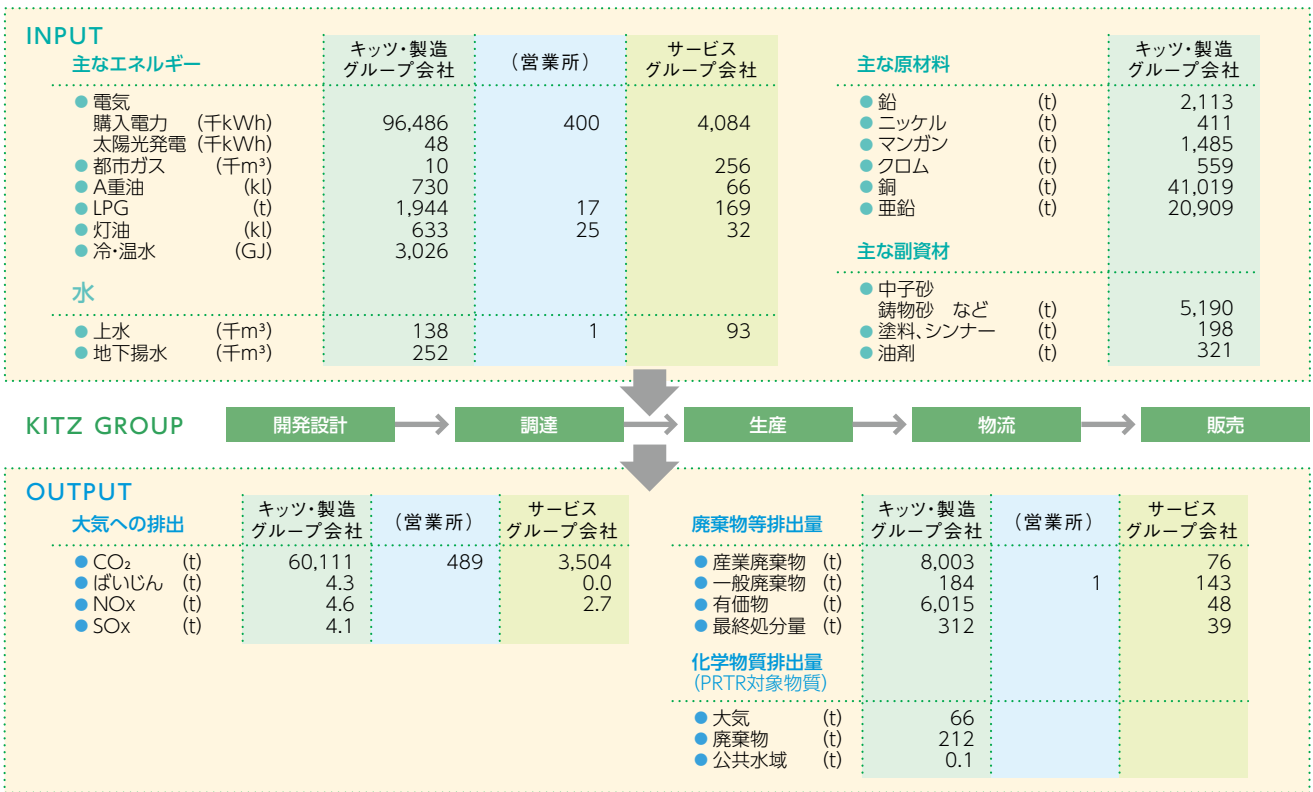


PRTR対象物質使用量(上位5種)



※年間取り扱い量1t未満、含有率1%未満のPRTR対象物質も集計しています。

環境負荷の全体像



環境会計

■ 環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取り組みの内容	設備投資額	費用額
事業エリア内コスト		99,454	387,938
内訳	公害防止コスト	公害防止施設・設備の導入・維持管理	67,453 108,780
	地球環境保全コスト	省エネ型設備・機器の導入	23,475 82,492
	資源循環コスト	廃棄物減量化・リサイクル、外部委託処理費	8,525 196,666
グリーン購入製品リサイクルコスト	使用済み商品の回収・リサイクル費用	0	8,019
管理活動コスト	ISO・環境測定・環境情報の開示	0	66,464
研究開発コスト	鉛フリーなど環境配慮商品の開発	0	89,785
社会活動コスト	緑化活動の推進	0	337
環境損傷コスト	地下水の浄化対策	6,000	730
その他のコスト		0	0
合計		105,454	553,273

項目	内容等	金額
当該期間の設備投資額の総額	環境保全に係る投資額の割合:2.9%	3,687,433
当該期間の研究開発費の総額	環境保全に係る開発費の割合:4.6%	1,935,935

集計範囲はキッツ(本社、長坂工場、伊那工場、茅野工場)、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、キッツエスシーティ、清水合金製作所、キッツエンジニアリングサービス

■ 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期 (2013年度)	当期 (2014年度)	前期との差
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(GJ)	704,892	509,809	-195,083
	PRTR対象物質の投入量(t)	4,872	4,876	4
	上水投入量(m³)	346,197	138,703	-207,494
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	地下水投入量(m³)	602,742	252,455	-350,288
	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	76,227	60,232	-15,996
	特定の化学物質排出量・移動量(t)	306	278	-28
	一般廃棄物及び産業廃棄物総排出量(t)	8,393	8,216	-177

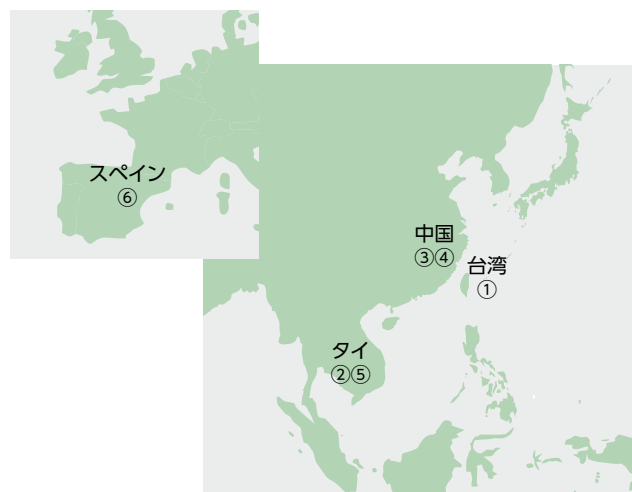
■ 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み商品等のリサイクルによる事業収入	415,466
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	112,026
	リサイクルに伴う費用節減	204,808
	廃棄物減量に伴う費用節減	4,530
合計		736,830

海外における環境マネジメントの強化

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」を策定し、環境経営の推進を経営基盤強化の主要項目として位置付けています。環境中期計画では、国内外16の製造拠点全ての事業所でISO14001認証を取得することを目標に設定しており、グローバルな環境マネジメントの確立に取り組んでいきます。



■ ISO14001統合認証取得事業所

事業所名	
(株)キッツ長坂工場	(株)キッツマイクロフィルター (本社工場、第二工場)
(株)キッツ伊那工場	(株)キッツエスシーティ
(株)キッツ茅野工場	(株)清水合金製作所
(株)キッツメタルワークス	東洋バルブ(株)甲信営業所

■ ISO14001認証取得状況(海外)

事業所名	認証年月
①台湾北澤股份有限公司	2000年 11月
②KITZ (Thailand) Ltd. Bangplee工場	2010年 12月
③北澤精密機械(昆山)有限公司	2010年 12月
④北澤閥門(昆山)有限公司	2011年 4月
⑤KITZ (Thailand) Ltd. Amatanakorn工場	2012年 2月
⑥KITZ Corporation of Europe, S.A.	2012年 5月

算定基準(2014年度実績)

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法		
INPUT	総エネルギー投入量	GJ		
		GJ		
	原材料投入量	トン		
	水の使用量	m ³		
		事業活動で消費されるエネルギー量(GJ) Σ [各エネルギー年間使用量×各単位発熱量]×10 ⁻³ *出典:平成25年度(2013年度)におけるエネルギー需給実績(確報) (平成27年4月14日公表) 資源エネルギー庁 電気:3.6MJ/kWh A重油:38.9MJ/ℓ 灯油:36.5MJ/ℓ 軽油:38.0MJ/ℓ LPG:50.1MJ/kg 都市ガス:40.3MJ/m ³ ガソリン:33.4MJ/ℓ キッツ本社ビル(千葉県:幕張新都心)において、空調利用のために地域冷暖房システムから熱源である冷温水を受け入れている量		
OUTPUT	二酸化炭素排出量	事業活動	事業活動で消費されたエネルギーにより排出された二酸化炭素(t)	
			*地球温暖化対策推進法施行令より 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧	
			電力	東京電力:0.530 関西電力:0.522 中部電力:0.513 北海道電力:0.678 (kg-CO ₂ /kWh) 東北電力:0.591 北陸電力:0.630 中国電力:0.719 九州電力:0.613
			A重油:2.76kg-CO ₂ /ℓ 灯油:2.50kg-CO ₂ /ℓ 軽油:2.62kg-CO ₂ /ℓ	
			LPG:3.01kg-CO ₂ /kg 都市ガス:2.08kg-CO ₂ /m ³ 東京ガス:2.19kg-CO ₂ /m ³ 大阪・北ガス:2.29kg-CO ₂ /m ³	
			冷・温水:0.057kg-CO ₂ /MJ ガソリン:2.29kg-CO ₂ /ℓ	
			ばいじん量(t)=ばいじん濃度(g/m ³ N)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×10 ⁻⁶	
			SOx(t)=硫酸化合物濃度(ppm)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×64/22.4×10 ⁻⁹	
			NOx(t)=窒素化合物濃度(ppm)×単位時間当たりの乾き排ガス量(m ³ N/h)×年間稼働時間(h/年)×46/22.4×10 ⁻⁹	
		廃棄物	廃棄物最終処分量:委託した廃棄物量(トン)×最終処分量率(%) ※一般廃棄物10.7%:環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成25年度実績)について」より引用。産業廃棄物:中間処理業者から回答の得られた値。	

対象期間:対象期間は2014年度(2014年4月1日~2015年3月31日)の実績です。
対象範囲:キッツ及び国内グループ会社6社(詳細はWEBサイトをご覧ください)
環境パフォーマンス情報の収集・報告の方針及び基準:環境関連法規に準拠し、「キッツグループ環境理念」「キッツグループ環境行動指針」「キッツグループ環境・安全衛生パフォーマンスデータ算定ガイドライン」他環境関連社内規定に基づき記載しています。

参考にしたガイドライン:

- 環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- 環境省「環境会計ガイドブック(2005年版)」
- 発行:2015年7月
- 次回発行予定:2016年7月(毎年発行していく予定です)

キットグループ安全衛生基本理念

キットは人間尊重を基本とし、安全衛生が全ての活動に最優先することを認識し、積極的に安全衛生活動に取り組み、災害ゼロを目指します。

キットグループ安全衛生基本方針

1. 労働安全衛生法令及び関係法令を順守するとともに、社内規程・基準に基づき全ての従業員の安全衛生を確保する。
2. 安全衛生活動に必要な知識・技能を、全ての従業員に教育・訓練して安全衛生管理レベルの向上を図る。
3. 従業員が安心して働けるよう、設備の本質安全化を図る。
4. 職場における危険性・有害性を取り除き、リスクの低減を図る。
5. いきいきとした快適な職場づくりに努め、心とからだの健康づくりを推進する。

先取り(予防)と安全意識の向上を図り、グループを挙げて安全衛生活動を推進します

「組織的な活動」と「ライン化の徹底(小集団活動によるボトムアップ)」との両方向から展開を図り、一人ひとりのマインドを変え、安全意識を向上させ、職場風土を変革していきます。

従業員の安全と健康の施策として、「安全の先取り(予防)」と「安全意識の向上」を図るため、以下の重点取組事項を設定しています。

- 管理体制の整備(安全衛生関係法令の順守)
- 機械・設備、人への安全対策(類似災害防止)
- 職場風土づくり(ゼロ災運動の推進)

